

福岡市 情報システムの現状と課題

平成24年7月9日

福岡市ICTアドバイザー

桑原 義幸



1 福岡市ICTに関する傾向と課題:コスト面

傾向:現在入手出来る経費データは非常に限定的であり、分析が困難な状況である。この限られたデータから以下の傾向が読み取れる。

- トータルコストはH19年をピークとするとH23年において-24%の削減。ただし、コスト増減幅が安定しておらず原因の精査が必要
- システム数はH19年の188からH23年において193と5システム増加
- トータルコストは低減方向にあるが、この一番の要因はリース費用の低減によるもの。反面、運用コストに関しては、微増傾向である。特に内部事務系にその傾向
- 運用費の占める割合が60%前後で推移し、減少の傾向がない
 - JUAS(*1)の動向調査によると各社50%を目標としている

課題

対応急務

1. コスト分類がリース費と運用費の二種類のみ
2. 運用費の削減

ICT経費の見える化がなされていない

*1:日本情報システム・ユーザー協会(JUAS)

2 福岡市ICTに関する傾向と課題:ガバナンス面

現状:ICT導入に対してシステム審査を行っている。また、1年後に導入効果の評価を行っているが...

- 2年目以降の評価が行われていないため、最終的な効果、成果が不明
- 効果(KPI)、成果(Outcome)が明確でない
- 効果が出なかった場合、次のアクションの有無が不明
- 内部事務(一般会計)系システムは原課が管理しており、費用対効果の積年情報等が集約されていない。

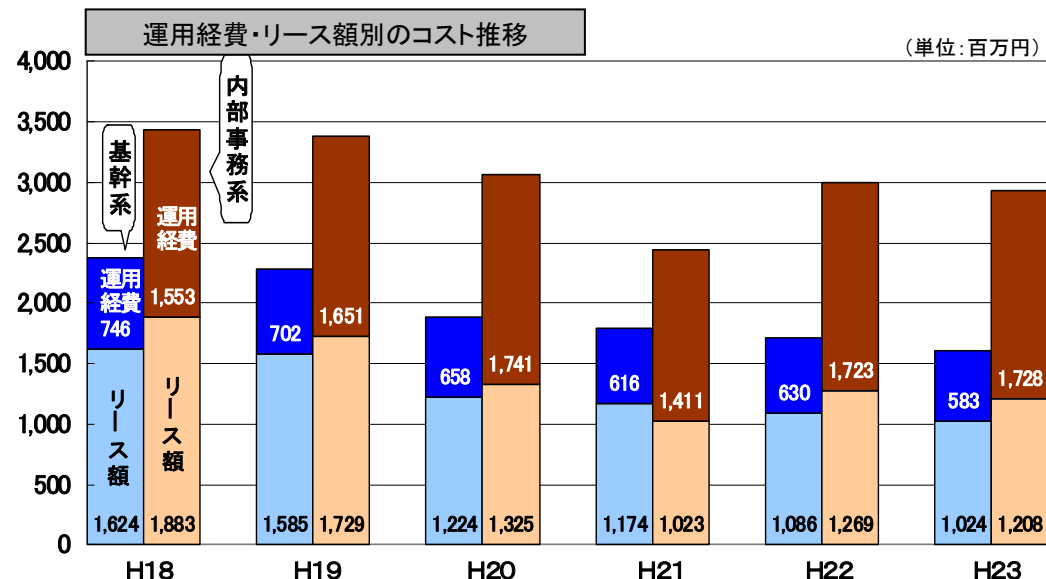
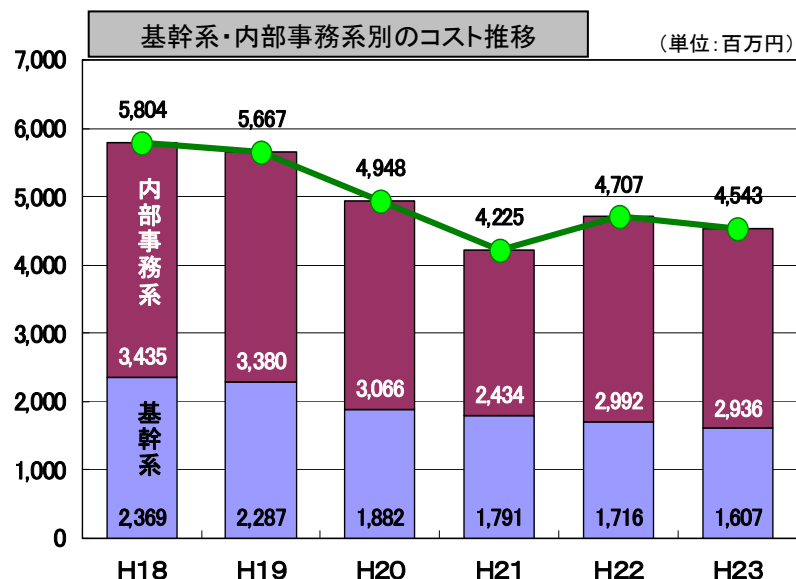
課題

対応急務

1. 最終的な投資効果・成果が見えない
2. ITガバナンスにおけるPDCAサイクルが継続的に回っていない
3. システムだけでなく、業務についても今後見える化し、ITガバナンスが機能するような体制や方法をとる必要がある。

ITガバナンスの見える化がなされていない

3 ICT経費の現状



- ◆情報システム全体では、着々とコスト削減ができています。
- ◆また、内部事務(一般会計)系システムでは、コスト削減が必ずしも順調ではない。
- ◆直近では経費の減少額が低下傾向にある。

- 基幹系システム**: 区の主要業務(住民記録、戸籍、税、年金保険、福祉等)を処理するために全市的に運用される大規模システム
- 内部事務系システム**: 財務・庶務、電子決裁などの内部事務系システムや部門毎に運用される個別システム等

4 ICT経費内訳

(単位:百万円)

		H18	H19	H20	H21	H22	H23
基幹系	リース額	1,624	1,585	1,224	1,174	1,086	1,024
	運用経費	746	702	658	616	630	583
	合計額	2,369	2,287	1,882	1,791	1,716	1,607
内部事務系	リース額	1,883	1,729	1,325	1,023	1,269	1,208
	運用経費	1,553	1,651	1,741	1,411	1,723	1,728
	合計額	3,435	3,380	3,066	2,434	2,992	2,936
合計	リース額	3,506	3,314	2,549	2,197	2,355	2,232
	運用経費	2,298	2,352	2,399	2,027	2,353	2,311
	合計額	5,804	5,667	4,948	4,225	4,707	4,543

【情報システム】

193システム

(内訳)

○情報システム課
所管システム
51システム

○他部局
所管システム
21局142システム

システム数	184	188	198	197	187	193
-------	-----	-----	-----	-----	-----	-----

今まではシステムの増加分の経費を既存システムの経費削減で補うことにより全体経費の増加を防いできた。今後、ICT経費の削減が困難になると仮定した場合、新規情報システムの追加はICT経費の増加にそのまま跳ね返ってくること予想される。

5 見える化のための実施項目(案)

- 開発経費
- 機器のリース費
- 保守・運用経費

システム投資

投資効果

- 市民サービスの向上
- 業務の効率化

投資分野のバランス
の見直し

投資と効果のバランス
の見直し

1 ICT投資・経費の調査

2 経費の分析

3 運用コストの削減と今後の投資に向けての戦略策定

1 投資効果(Benefit by Cost)の調査

2 投資効果の評価

3 投資効果が最大となるよう、投資バランスの見直し・組み換え

◆運用費、リース費の単価等の見直し

◆アーキテクチャの見直し

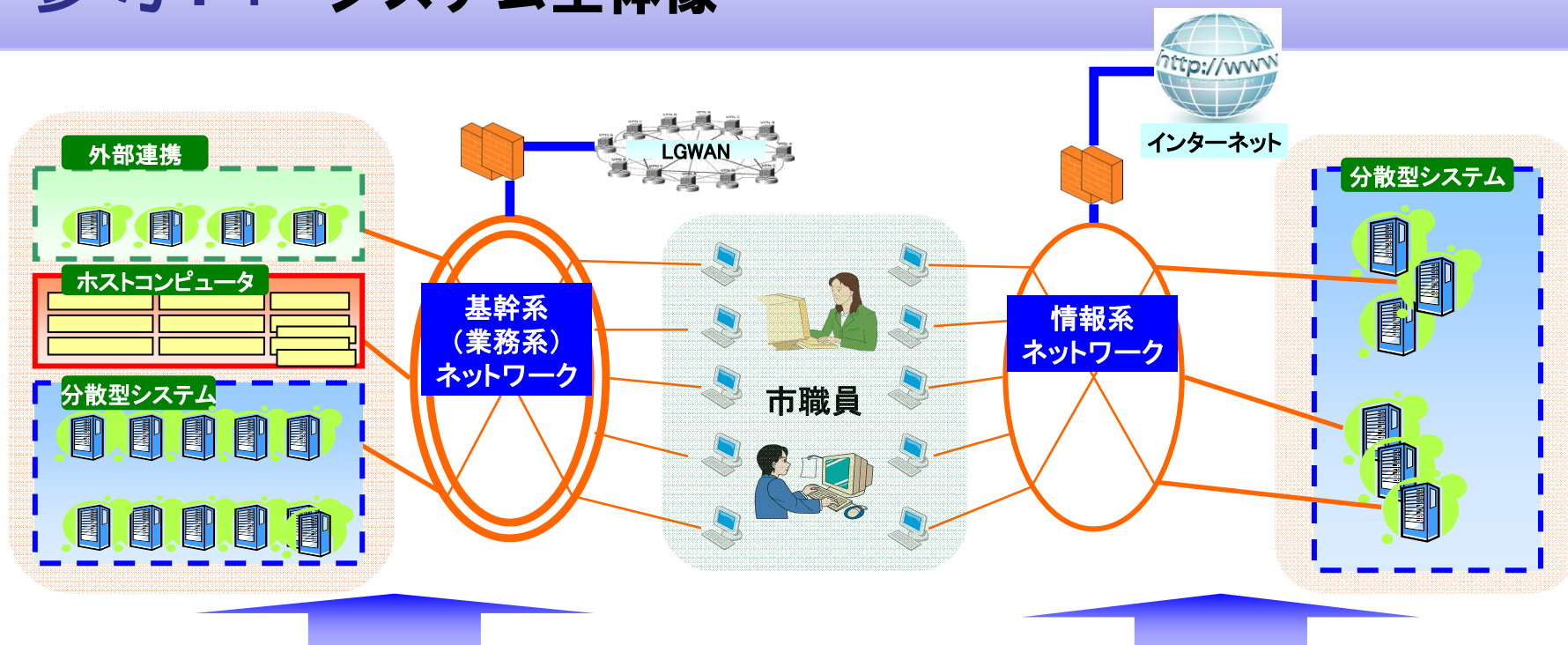
◆業務並びにシステムを見直し、費用効果の高いシステム環境に再編する

情報化推進プラン

【参考資料】



参考1-1 システム全体像

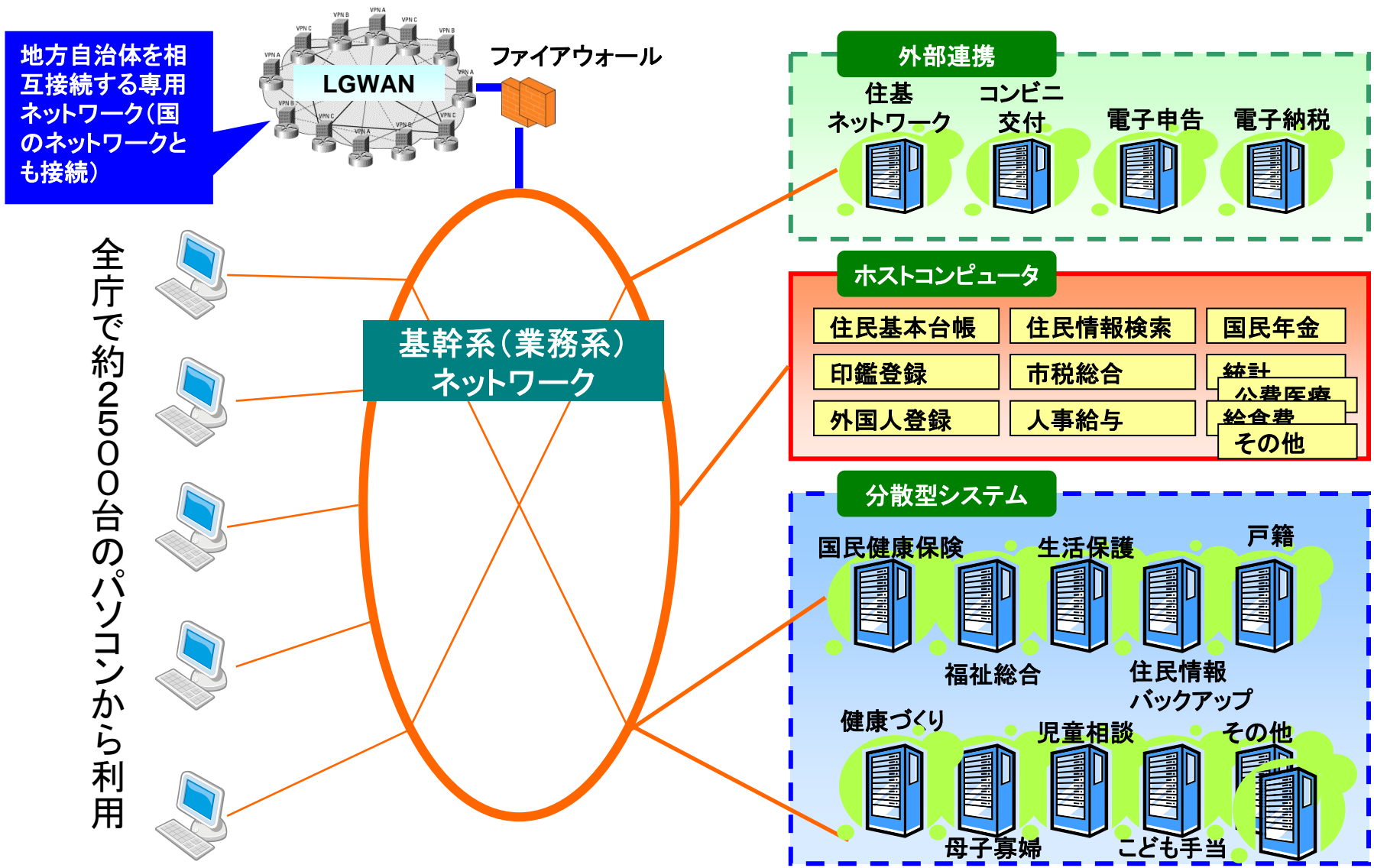


- ✓ 戸籍、住民情報、市税、福祉等、**市民の重要な情報を管理するシステム**で構成
- ✓ 外部とのネットワーク接続を基本的に行わない等の堅牢な**セキュリティ対策**
- ✓ **市民サービス停止を防止する対策(システム冗長化)**

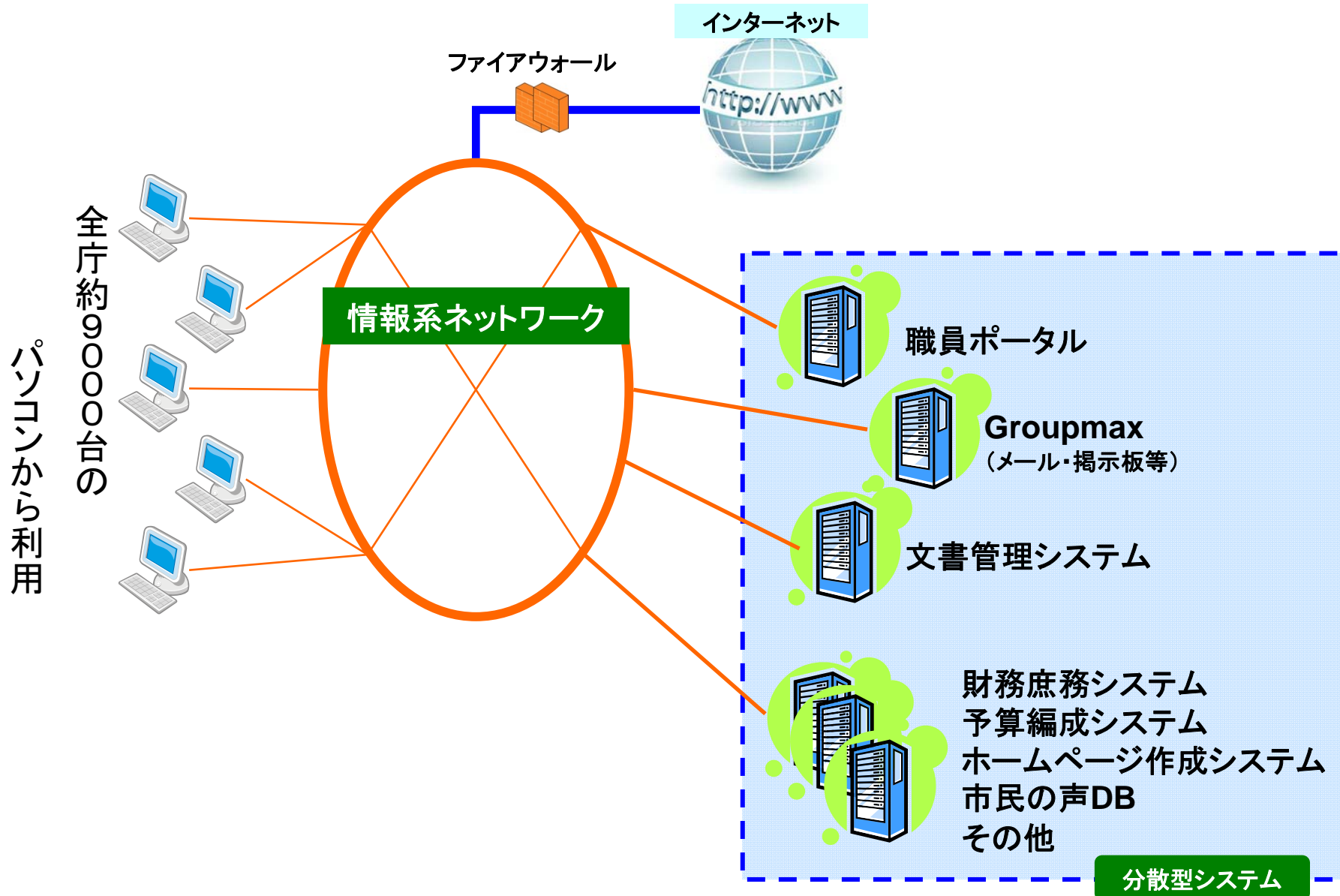
- ✓ 財務、庶務、予算、文書、インターネット閲覧、メール等の**内部事務系システム**で構成
- ✓ **インターネットに接続されている**ことから、ウイルス感染等を防止するための**厳重なセキュリティ対策**を実施
- ✓ 冗長化等**費用対効果を考慮した構成**とすることで運用経費節減を図る

セキュリティについては、総務省が策定した「地方公共団体における情報セキュリティポリシーに関するガイドライン」に準拠した対策を行なっている。

参考1-2 基幹系（業務系）システムの構成



参考1-3 情報系システムの構成



参考2-1 情報化関連施策の現状

多様な市民ニーズへの対応と市民生活の利便性の向上

行政手続の利便性向上

- 市民の生活スタイルや生活サイクルの多様化をうけ、ICTを活用して手続が市民の身近な拠点やインターネット上で行えるよう各種施策を実施。

【主なシステム例】

- ・電子申請システム・行政手続オンライン化
- ・公共施設案内・予約システム
- ・市税の電子申告・電子納税システム(eLTAX)
- ・住民票等証明書のコンビニ交付

暮らしに身近なサービスの提供

- 健康づくりに関する情報のホームページでの提供など、市民の健康づくりの支援に向けたICTの活用。
- 子育てに関する行政サービスの情報をホームページで提供。
- 学校教育情報ネットワークを活用した学校間の連携や情報共有の強化。
- 環境に関するデータの収集・分析におけるICTを活用とホームページなどを活用した情報の提供。

【主なシステム例】

- ・保健福祉総合システム
- ・国民健康保険・公費医療システム
- ・子ども手当システム
- ・環境監視システム

安全・安心のまちづくり

- 自然災害、大規模な事故など緊急時における迅速な対応に向けた、ICTを利用した一元的な情報を収集・分析・提供できる仕組みの構築
- 防犯に役立つ情報の共有などの仕組みの構築
- 消防・救急活動へのICTの活用

【主なシステム例】

- ・福岡市安全・安心ネットワーク
- ・みまもりタッチ(はやかけん利用)
- ・福岡市防災気象情報システム

豊かで快適な暮らしの実現

- ICTを活用し、ホームページでの生涯学習に関する情報の提供や、学習施設での多様な利用者ニーズにあったサービスの提供
- ICカードの導入などICTを活用し、より快適で利便性の高い公共交通サービスを提供

【主なシステム例】

- ・情報プラザ情報提供システム
- ・区役所・公共施設窓口における電子マネー決済
- ・携帯サイトの充実(交通局HP)

参考2-2 情報化関連施策の現状

地域の活性化

市民の主体的な活動の支援

- 地域特性に応じた情報の提供と共有など、ICTを活用した地域コミュニティの活性化に向けた取り組みの支援
- NPOなどによる活動や幅広い人材の交流に対する支援におけるICTの活用

【主なシステム例】

- ・福岡市産業振興ガイドHP
- ・博多港物流ITシステム

地域経済の活性化

- 地場中小企業の経営や博多港の物流に関する情報のホームページでの提供
- 福岡市を訪れる人々へのホームページによる情報提供等

【主なシステム例】

- ・福岡市Webまっぷ
- ・NPO・ボランティアに関する情報提供(あすみんHP)
- ・福岡市公衆無線LAN(Fukuoka City Wi-Fi)

行政運営の透明化と効率化

さらなる情報提供に向けた取り組み

- ICTを活用し、ホームページなどにより行政情報を積極的に提供
- 高齢者や障害者に対する、更なるアクセシビリティの向上

【主なシステム例】

- ・ホームページを活用した迅速な情報提供
- ・シティプロモーションポータルサイト
- ・福岡市の都市計画HP
- ・福岡市発行のメールマガジン
- ・ソーシャルメディア(ツイッター)の活用
- ・デジタルサイネージの活用

市政運営への市民参画・共働の推進

- ICTを活用した双方向の情報提供や交流の実施

【主なシステム例】

- ・福岡市新・基本計画HP、福岡市議会HP

行政事務のさらなる効率化

- 情報通信技術の進展と費用対効果を踏まえた、行政事務のさらなるシステム化

【主なシステム例】

- ・財務会計システム・文書管理システム
- ・予算・決算システム
- ・地理情報システム(GIS)
- ・CALS/EC(電子納品)